仕　様

形　名		R-S36NV・R-S36NVL
種　類		冷　凍　冷　蔵　庫
定格内容積		355L
	冷蔵室	213L
	野菜室	72L〈 43L 〉
	冷凍室	70L〈 46L 〉
外形寸法		幅590mm×奥行615mm(ハンドル含まず)×高さ1775mm
コード長さ		2.7m
定格電圧		100V
定格周波数		50/60Hz 共用
電動機の定格消費電力	50Hz	103W
	60Hz	117W
電熱装置の定格消費電力	50Hz	186W（霜取り時）
	60Hz	186W（霜取り時）
消費電力量		冷蔵室扉内側の品質表示ラベルに表示してあります。
質　量		73kg

部品

冷蔵室

高さかわるん棚(最上段)…1
うすいん棚………2
高さかわるん棚(下段左)…1
固定棚……………1
氷温ケース………1
卵ケース…………1
ポケット(上段右)‥1
高さかわるポケット(上段左)…1
ポケット(中段大)…1
ポケット(中段小)…1
ジャンボダブルポケット…1
給水タンク………1

野菜室

野菜ケース…………1
スライド小物ケース…1

冷凍室

スライドケース………1
アイススコップ………1
防音マット………1
下段ケース………1

- 「定格内容積」は、日本工業規格(JIS　C9801)に基づき、庫内部品のうち冷やす機能に影響がなく、工具無しにはずせる棚やケース等を、はずした状態で算出したものです。「定格内容積」には、「食品収納スペース」と「冷気循環スペース」を含みます。
- 〈　〉内は、「食品収納スペースの目安」です。引き出し式貯蔵室(野菜室、冷凍室)の場合、「定格内容積」と併せ「食品収納スペースの目安」を表示しています。
- 霜取りは1日1～2回程度、1回の霜取り時間は20～30分程度です。

冷蔵庫の消費電力量について

■冷蔵庫の消費電力量(年間消費電力量)は、1999年のJIS　C9801の改正によりISO(国際標準化機構)規格に準じた試験方法により測定し表示しています。

■消費電力量の試験条件

	JIS　C9801			
種　類	冷凍冷蔵庫「スリースター」「フォースター」機種		冷蔵庫	冷凍庫
庫内温度	冷凍室	冷蔵室	冷蔵室	冷凍室
	－18℃以下	5℃以下	5℃以下	－18℃以下
扉開閉回数	8回／日	25回／日	25回／日	8回／日
周囲温度	25℃			
周囲湿度	70±5％			
消費電力量の表示	年間消費電力量（kWh／年）W_{25}×365日／年			

W_{25}:周囲温度25℃での1日当たりの消費電力量(kWh／日)

愛情点検

● 長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

こんな現象はありませんか

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷や変形がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 冷蔵庫床面にいつも水がたまっている。
- ピリピリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

▶ 故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

廃棄時にご注意願います。
　2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済の冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お客様メモ

購入年月日・購入店名を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

お買い上げ日	年　月　日	形名	
購入店名	電話（　　）		

株式会社　日立製作所
〒105-8430　東京都港区西新橋2-15-12　電話(03)3502-2111

R-S36NV
R-S36NVL Ⓐ

日立冷凍冷蔵庫 取扱説明書

HITACHI

形名

R-S36NV形・R-S36NVL形

[solfège]
ソルフェージュ

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みください。
取扱説明書は保証書と共に大切に保管してください。

もくじ　ページ

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

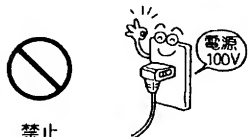
表示	内容
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

絵表示	内容
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
●	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

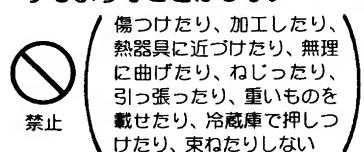
⚠警告

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない

禁止

他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して発火することがあります。

- 定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

禁止

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、冷蔵庫で押しつけたり、束ねたりしない)

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- 電源コードや電源プラグの修理は販売店にご相談ください。

■可燃性ガスが漏れているときは冷蔵庫に触れず窓を開けて換気する

ドアスイッチなどの、電気接点の火花で引火爆発し、火災や、やけどの原因になります。

■ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

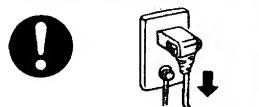
ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

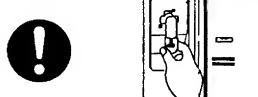
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源プラグはコードが下向きになるよう差し込む

逆に差し込むとコードに無理がかかり、ショート・過熱し、感電・発火の原因になります。

■地震などによる転倒防止の処置をする

転倒し、けがの原因になります。(☞❻ページ)

■庫内灯は指定のものを使う

指定以外のものを使うと、火災の原因になります。(☞⓲ページ)

■庫内灯を交換するときは必ず電源プラグを抜く

抜かずに作業すると感電やけがをする恐れがあります。(☞⓲ページ)

⚠警告

■電源プラグのほこりは定期的に取る

電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

■自動製氷機の機械部には手を触れない

接触禁止

製氷皿が回転したとき、けがをすることがあります。

■冷蔵庫の上にものを置かない

禁止

扉の開閉などで落下し、けがをすることがあります。

■冷蔵庫の上に水を入れた容器を置かない

水ぬれ禁止

こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり漏電し、火災・感電の恐れがあります。

■本体や庫内に水をかけない

水ぬれ禁止

電気絶縁が低下し、感電・火災の恐れがあります。

■可燃性スプレーを近くで使わない

禁止

ドアスイッチなどの電気接点の火花で引火する危険があります。

■引火しやすいものは入れない

禁止

ベンジン・エーテル・LPガス・シンナー・接着剤などは引火爆発する危険があります。

■薬品や学術試料を保存しない

禁止

厳しい管理の必要なものは、家庭用冷蔵庫で保存できません。

■扉にぶら下がったり引き出し扉に乗ったりしない

禁止

倒れたり、手をはさんだりして、けがをすることがあります。

■湿気の多いところや水のかかるところには据え付けない

水ぬれ禁止

電気絶縁が悪くなり、感電や火災の原因になります。

■分解・修理・改造は絶対にしない

分解禁止

発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

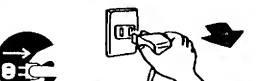
- 分解・修理が必要なときは、販売店へご相談ください。

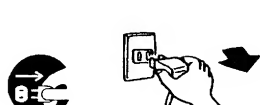
■アース(接地)を確実に行う

アース線接続

故障などによる漏電により、感電する恐れがあります。

- アース工事は、必ず販売店に依頼してください。(☞❼ページ)

■製品の異常や故障のときは 電源プラグを抜き 運転を中止する

感電やけがをする恐れがあります。

■お手入れの際は 必ず電源プラグを抜く

感電やけがをする恐れがあります。

■廃棄処分するときはドアパッキングをはずす

幼児が閉じこめられると危険です。

- ドアパッキングは引っ張ると外れます。

安全上のご注意（つづき）

必ずお守りください

⚠注意

■冷凍室にびん類を入れない

中身が凍って割れ、けがをすることがあります。

■冷凍室の食品や容器をぬれた手で触れない

凍傷になる恐れがあります。（特に金属製のもの）

■最下段の引き出し扉を開けるときは　冷蔵庫に足を近づけすぎない

禁止

扉を引き出したとき、足の甲などに当たり、けがをする恐れがあります。

■食品は棚より前に出さない

ビン類などが引っ掛かって落下し、けがをすることがあります。

■ジャンボダブルポケット前列には　底まで入らないビン類は入れない

禁止

大きなビン類などを無理に入れると、扉開閉時に落下し、けがをすることがあります。

■におったり　変色した食品は食べない

禁止

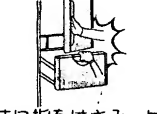
腐敗により、病気の原因になることがあります。

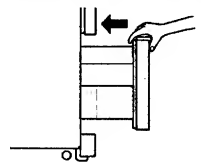
■冷蔵庫底面に手を入れない

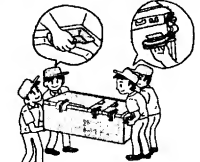
清掃するとき、底面に手を入れると鉄板で手を切る恐れがあります。

■傷付きやすい床の上では冷蔵庫下部の移動車輪は使用しない

移動車輪により床材を傷付けることがあります。
●傷付きやすい床では保護用の板などを敷いてください。

■２つ以上の扉を開くときや他の人が冷蔵庫に触れているときは　扉で指をはさまないか確かめる

扉と扉のすきまに指をはさみ、けがをする恐れがあります。

■引き出し式の扉を閉めるときは上面を持たない

扉の上面を持って閉めると、指をはさんでけがをすることがあります。

■運搬するときは　運搬用取っ手を持つ

取っ手以外を持つと手がすべってけがをする恐れがあります。（☞㉒ページ）

自動霜取りについて（霜取り操作は不要です）	●冷却器に付いた霜は自動的に溶けます。溶けた水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。 ●JIS（日本工業規格）では霜取り中および霜取り終了後の冷凍負荷温度（食品温度）の上昇が、5℃以下と規定されています。

使いはじめ

●冷蔵庫は、「食品の鮮度をよくするもの」ではなく、あくまでも「食品が傷むことにある程度のブレーキをかけるもの」です。取扱説明書に従って正しく使用し、適切な食品管理を心がけてください。

はじめに

❶ **庫内を清掃する**
しめらせた柔らかい布で。

❷ **専用コンセントに接続する**

❸ **充分冷えてから食品を入れる**
プラスチックのにおいは庫内が冷えるとなくなります。

夏場など外気温の高いときは、食品が充分に冷えるまで24時間くらいかかることがあります。

上手な食品の入れかた

すき間をあける
詰め過ぎると、冷気の流れが悪くなります。

食品は清潔に
食品には、意外に多くの汚れが付いています。

大量の食品を入れる時は冷ましてから
温かい食品を大量に入れると、庫内の温度が上がり、電気代のムダになりますので、冷ましてから入れることをおすすめします。

冷気の吹き出し口をふさがない
冷気の流れが悪くなります。

密閉して
ラップや密閉容器を利用すれば、乾燥やにおい移りを防げます。

新たな食品を重ねない
冷えていた食品の温度が上がります。

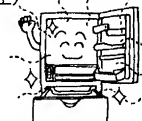
こんなときは

塗装面に傷がついたときは

放っておくと、さびが発生しますので、早めに処置してください。

【簡単な処置方法】
● 小さな傷はシールをはる。
● 大きな傷は、防水性のある壁紙をはる。
（さびは紙やすりで落としてから）

停電したときは
扉の開閉を減らし、新たな食品の保存はさける。

長期間使わないときは
電源プラグを抜いてから庫内や自動製氷機（☞⑯ページ）を掃除し、２～３日間扉を開けて乾燥させる。（カビ、ニオイの防止）

一度電源プラグを抜いたあと、すぐに差し込んでも7分間は圧縮機の運転をしません。
ただし庫内が冷えていない場合は、約30秒で運転を開始します。

据え付けのしかた

ムダな電気代や
騒音をおさえるために、
正しく安全な据え付けを！

万一の地震にそなえて

- 背面の左右に冷蔵庫用転倒防止ベルトを掛け、先端を丈夫な壁や柱に固定してください。
  別売品：部品番号　R-826CV 300
  希望小売価格　870円(税別) ×2個使用
  (2001年4月現在)

放熱スペースをあける

- 冷蔵庫は食品を冷やすため、周囲から熱を放出しています。図のように左右0.5cm、上部5cm以上(冷蔵庫の天井面から)のすき間をあけてください。
- 背面は壁に付けられますが、振動音が出るときは、壁から離してください。また、圧縮機周辺の空気の対流により、壁材が黒く変色する場合があります。
- 冷蔵庫側面から放熱しているので、周囲の壁・棚等が暖かくなることがあります。側面の隙間は、なるべく大きく確保してください。
- 冷蔵庫の上にものを置かないでください。

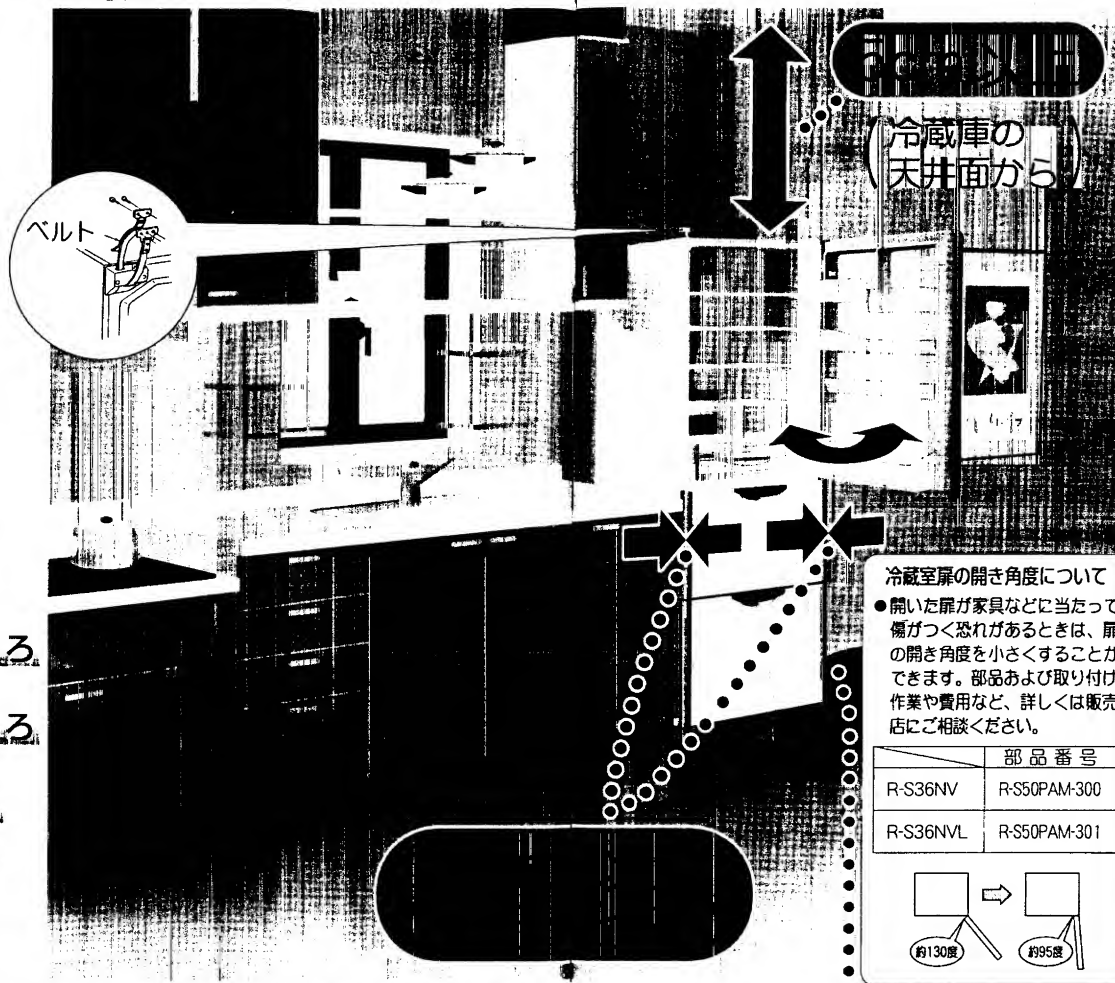
熱気・直射日光の当たらないところ

- 冷却力の低下をおさえ、電気代のムダを防ぎます。

湿気が少なく、風通しのよいところ

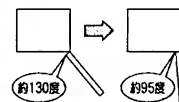
- さびの発生をおさえ、電気代のムダを防ぎます。

床が丈夫で水平なところ

- 調節脚を下図のように矢印の方向に回して床に着け、水平に固定してください。不安定な据え付けは、転倒や騒音・振動の原因になります。
- 冷蔵庫底面の熱により変色する恐れのある、じゅうたんや畳・フローリング・塩化ビニール製の床材などの場合、または床が弱い場合は丈夫な木板を敷いてください。

冷蔵室扉の開き角度について

- 開いた扉が家具などに当たって傷がつく恐れがあるときは、扉の開き角度を小さくすることができます。部品および取り付け作業や費用など、詳しくは販売店にご相談ください。

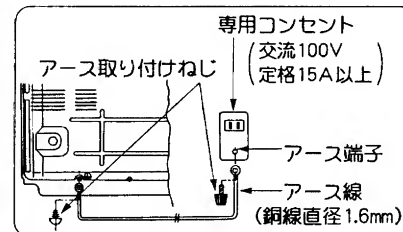
	部品番号
R-S36NV	R-S50PAM-300
R-S36NVL	R-S50PAM-301

約130度 ⇨ 約95度

アース(接地)について

万一の感電防止および雑音障害を防ぐために、アース（接地）することをおすすめします。なお、次のような場所に据え付ける場合は、必ずアースをしてください。

- 土間や洗い場の床など水気のあるところ。
- 地下室など湿気のあるところ。
- その他水気や湿気のあるところ。

●アースのしかた

アース線を背面下部のアース取り付けねじ（⊕記号）と電源コンセントのアース端子に接続してください。

別売品：「アース線（2.5m）」
部品番号　NW-60R6 52
希望小売価格　300円（税別）
(2001年4月現在)

●アース端子がない場合

お買い上げの販売店にアース工事（D種接地工事・有料）を依頼してください。

接続してはいけないところ

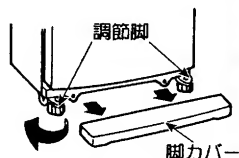
- 水道管　（感電の危険）
- ガス管　（爆発の危険）
- 電話線や避雷針のアース（落雷のとき危険）

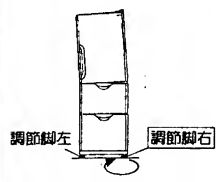
●漏電しゃ断器について

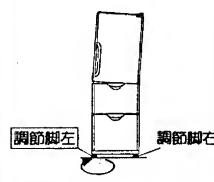
特に水気の多い場所（魚店、豆腐店など常時床面に水気のあるところ）に据え付ける場合
アースの他に漏電しゃ断器の設置が義務づけられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

固定のしかた

必ず調節脚を床につけ、水平に固定してください。

1. 脚カバーの両端を持って手前に強く引いてはずす。
2. 調節脚（左右）を矢印の方向に回して下げる。

扉の平行調整は

●左側が下がっている場合

調節脚右を矢印の方向に回して調節してください。

●右側が下がっている場合

調節脚左を矢印の方向に回して調節してください。

お願い

- 冷蔵庫の設置状況により、電話機・インターホン・ラジオ・テレビなどに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。このようなときは、冷蔵庫の本体および電源コードと他の機器をできるだけ離すか、冷蔵庫をアース（接地）することをおすすめします。冷蔵庫の影響を受ける距離は、電波や設置の状態により異なります。

特長と食品の貯蔵場所

●温度は、周囲温度30℃、各室温度調節を「中」にして、食品を入れずに扉を閉め、安定したときの目安です。

庫内の食品温度のはかり方

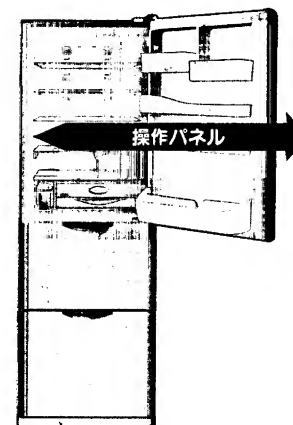
冷蔵庫は、JISに基づいて厳重な品質管理のもとで生産していますが、庫内の温度は冷蔵庫の据え付け状態や外気温、使用条件などにより変化します。しかし、庫内の食品は、8割前後が水分であるために比熱が大きく、その温度は空気のように大きく変化はしません。従って、一般の空気温度をはかる温度計では変化の少ない食品温度の測定ができません。そこで、空気温度の影響を受けにくく、食品に近い温度を示す<冷蔵庫用温度計>を発売しています。

ご購入の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。なお、一般のアルコール温度計で庫内の食品相当温度をはかる場合は、冷蔵室中段の棚の中央に約100mLの水を入れた容器を置き、感温部を3時間ほど浸しておくと、食品に近い温度が得られます。

●冷蔵庫用温度計の測定値は、扉開閉頻度・外気温・設置場所・庫内の冷気対流・圧縮機の運転や停止などの影響を受けて変化しますので、冷蔵庫用温度計の取扱説明書をよく読んでお使いください。

温度調節・操作パネル

冷蔵室・冷凍室は通常、『中』の位置でお使いください。

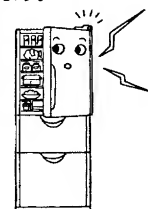
温度を変えたい場合はダイヤルを回し、お好みの位置に合わせてください。

急冷凍ボタン P13
製氷ボタン P15

冷蔵室		
弱	中	強
"中"より約2℃高くなります。	約1~4℃	"中"より約2℃低くなります。

●ダイヤルを"強"または"弱"にしますと、氷温室の温度もそれに応じて低めまたは高めになります。
●ポケットは上表の温度より若干高めになります。

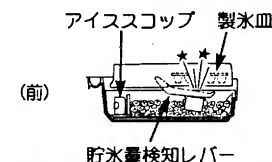
冷凍室		
弱	中	強
"中"より約2~3℃高くなります。	約-18~-20℃	"中"より約2~3℃低くなります。

半ドアアラームを止めたいとき

●急冷凍ボタンを3秒以上押し続けてください。
※冷凍室の扉を閉じたまま行ってください。
●再び半ドアアラーム機能を使うときは、同じ操作をもう一度行います。
●停電復帰した後は、半ドアアラームは鳴る状態に戻ります。

※アラームを止めても、シグナルは点灯します。

故障をお知らせしています

製氷一時停止ランプが点滅している場合は、自動製氷機、温度制御または霜取りなどに故障があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
とくに自動製氷機は食品などが製氷皿や貯氷量検知レバーに当たり、製氷を停止することがありますのでつぎのようなことを確認してください。

●貯氷ケースに冷凍食品、アイスクリーム、蓄冷剤など氷以外のものが入っていませんか?
●アイススコップは正しい位置にありますか?

お願い　冷蔵室、氷温、野菜室の食品が凍結する場合

●冷蔵室温度調節を"弱"にしてください。
●冷蔵室温度調節が"強(チルド)"のときは、"中"に戻してください。特に"強(チルド)"設定時には食品や給水タンクの水が凍結しやすくなります。
●冬など、周囲温度が5℃以下のときは、各温度調節を"弱"にすると、凍りにくくなります。
●野菜室の底面に葉もの類を寝かせて入れた場合、まれに凍結することがあります。食品包装用トレイなどを敷いて入れてください。
(野菜室は容器の周りから間接的に冷却しており、容器底面の温度が低くなっているためです。)

冷蔵室

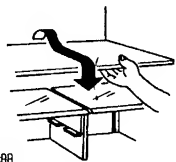
■すみずみまでたっぷり収納できる
新鮮冷蔵室

冷蔵室

庫内灯

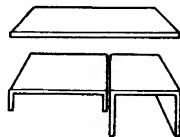
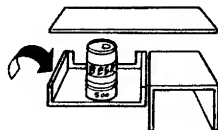
高さかわるん棚(最上段)/うすいん棚(2,3段目)

食品の高さや使い方に合わせて調節できます。

- ●棚の奥を少し持ち上げ手前に引き出すと取り出せます。
- ●お好みの位置に合わせ棚を奥面に当たるまで押し込んで下さい。
- ●高さかわるん棚・うすいん棚に、13kg以上のものを載せないでください。棚が変形したり、割れたりすることがあります。

給水タンク

(☞⑭ページ)

高さかわるん棚(下段左)

●普通の棚として

●その場で棚をひっくり返すと背の高い食品が入ります。

●最下段で棚をひっくり返すとより背の高い食品が入ります。(牛乳パック等)

●高さかわるん棚(下段左)に、6kg以上のものを載せないでください。棚が変形したり、割れたりすることがあります。

お知らせ

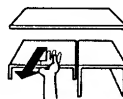
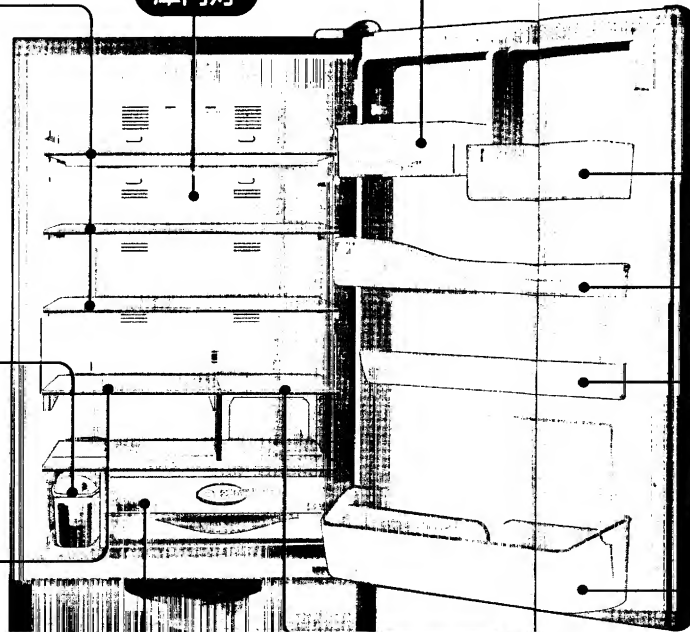
●外すときは手前を少し持ち上げて前方に引きます。(右側奥にストッパーがあります)

氷温室

氷温 魚介類や肉類の鮮度を長持ちさせる、約−1℃付近の温度帯です。

お願い

●氷温ケースの開閉は、図のように取っ手部を持って行なってください。取っ手部以外に手をかけて行なうと、指をはさんでけがをすることがあります。

- ●冷蔵室扉を閉めるときは、氷温ケースを押し込んだ状態で閉めてください。ケースを引き出した状態で扉を閉めると、ケースや食品を破損することがあります。
- ●豆腐・こんにゃく・ヨーグルトなど水分の多い食品を氷温室に入れないでください。食品が凍結します。また、ケースには3kg以上ものを入れないでください。割れることがあります。

ポケット(上段右)

ポケット(中段小)

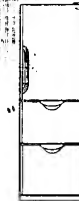
ジャンボダブルポケット

ポケット(中段大)

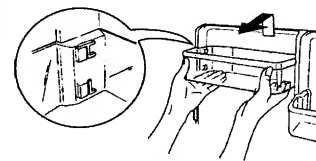
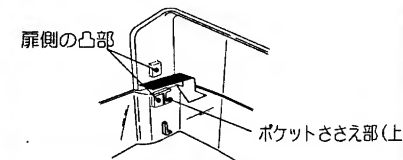
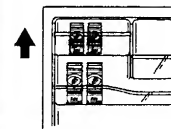
●卵ケースには、卵を市販のパックのまま入れることができます。

●卵ケースを裏返しにすると、小物ポケットとしても使えます。

固定棚

●固定棚に、5kg以上のものを載せないでください。棚が変形したり、割れたりすることがあります。

高さかわるポケット(上段左)

移動のしかた

- ●持ち上げ、手前に引きはずします。
- ●取り付けるときは、逆の操作をします。

●下へ移動する時は、扉側の凸部と凸部の間にポケットささえ部(上)を挿入し、下へ下げます。

高さかわるポケットを上へ	高さかわるポケットを下へ
上に350mL缶 下に500mL缶が入ります。	上に500mL缶 下に350mL缶が入ります。

⚠注意

■ **ポケットに不安定で倒れやすいビン類や缶類を立てて入れない**
落下して、けがの原因になります。

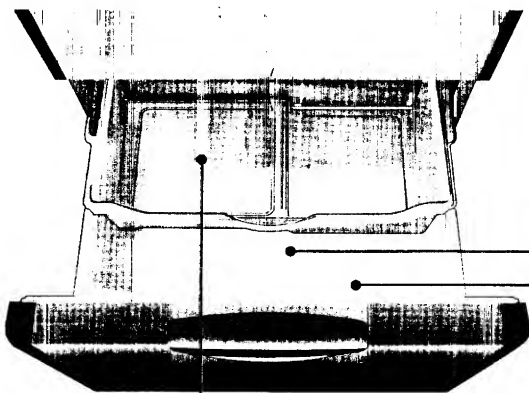
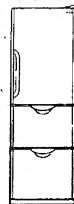
■ **ジャンボダブルポケットにボトル類を無理に入れない**
扉の開閉でポケットがはずれたり、ボトル類が落下して、けがをする恐れがあります。

■ **棚は決められた位置以外では使用しない**
棚のストッパーがきかず、棚や食品が落下しやすくなります。

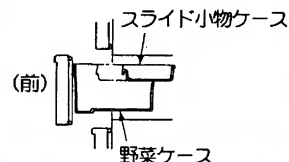
お願い

- ●高さかわるん棚・うすいん棚・固定棚に、ビン類や食品容器を載せる場合は、庫内灯を覆っているランプカバーに強く突き当てないでください。ランプカバーが割れることがあります。
- ●氷温室の前にはものを置かないでください。氷温ケースとジャンボダブルポケットにはさまれて、半ドアとなったり、ケースや食品を破損することがあります。

野菜室

野菜室

野菜ケース

●野菜ケースに、12kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。

●野菜ケースに食品を入れるときは、スライド小物ケースの下面より上に食品が出ないようにしてください。食品やスライド小物ケースを破損することがあります。

スライド小物ケース…くだものや小物野菜の貯蔵に。

●スライド小物ケースをはずして使うと、野菜室の温度が低くなり、また高湿を保てません。
●スライド小物ケースに、4.3kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。

ボトルコーナー

●2Lのペットボトル・ビール大びんを立てて収納できます。

⚠注意

■ **野菜室の扉を閉めるときは上面を持たない**

扉の上面を持って閉めると、指をはさんでけがをすることがあります。

⚠警告

■ **野菜室扉を引き出した状態で扉にのったり ぶらさがったりしない**

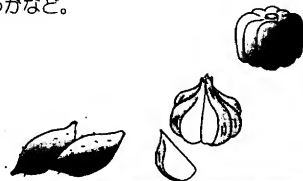
冷蔵庫が倒れたり、扉がはずれたりしてけがをすることがあります。

野菜は、切らずに貯蔵したほうが日もちします

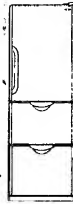
貯蔵してはいけない食品

バナナ・メロン・パパイヤ・パイナップル・アボガドなどは、熟成が進みにくくなり、変質することもあります。
なお、食べる前に冷蔵庫で冷やすことは差し支えありません。

貯蔵しなくてもよい食品

カボチャ・ごぼう・玉ねぎ・いも類・にんにく・根しょうがなど。

お願い
●野菜の量や種類によって、スライド小物ケースの底面や野菜室天上に結露することがあります。ふきんなどで拭き取ってください。
●水洗いした野菜は、よく水気を切ってから入れてください。
●長ねぎ・にら・わけぎなど、他の食品へのにおい移りが気になるものは、ラップをして保存してください。
●野菜室に入れた野菜が乾燥する場合は、ラップをしてください。

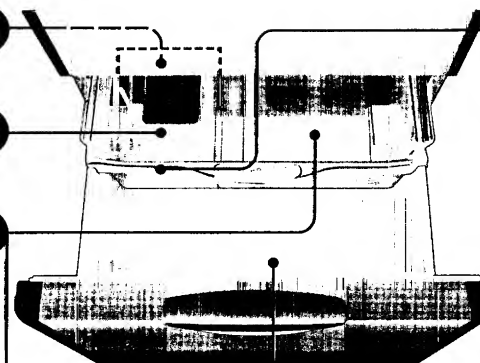
冷凍室

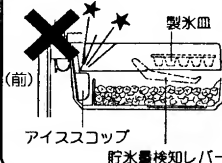
冷凍室

自動製氷機

貯水コーナー

スライドケース

●スライドケース内に、4.6kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。

アイススコップ

●アイススコップは所定の位置に倒して置いてください。
(☞⑭ページ)
立てて置くと、半ドアになったり、ケースや製氷機を破損することがあります。

(前) 製氷皿 アイススコップ 貯氷量検知レバー

急冷凍機能

●食品のおいしさ・新鮮さをすばやく冷凍します。

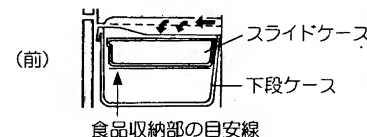
冷蔵室内にある操作パネルの「急冷凍」ボタンを押すと急冷凍ランプが点灯し、約2時間、急冷凍運転を行います。終わるとランプが消えます。途中でやめたいときには、もう一度ボタンを押します。ランプが消え、急冷凍を停止します。

●急冷凍時は庫内ファンの回転数を増しているため、運転音が大きめになります。

こんなときは

●周囲温度が高い夏場などは、急冷凍の効果が少なくなる場合があります。

下段ケース

大きな食品や長期間貯蔵する食品を入れます。
●下段ケースに、11kg以上のものを入れないでください。ケースが変形したり、割れたりすることがあります。
●下段ケースの目安線より上に、食品が出ないようにしてください。食品がスライドケースに当って、扉が確実に閉まらなくなり食品やスライドケースを破損することがあります。また、冷気通路をふさぎ、冷えが悪くなることがあります。

冷凍室の性能

この冷蔵庫の冷凍室の性能は＊＊＊＊(フォースター)です。
冷凍室の性能は、日本工業規格(JIS C9607)に定められた方法で試験したときの冷凍負荷温度(食品温度)によって表示しています。

■ **JISの試験方法は次の通りです。**
● 冷蔵室の温度が0℃以下とならない範囲で、最も低い温度になるよう温度調節ダイヤルを調節して、試験を行います。
● 冷蔵庫の据え付け場所の温度は15〜30℃の範囲を基準としています。
● 冷凍室定格内容積100L当り4.5kg以上の食品を24時間以内で－18℃以下に凍結できる性能の冷凍室を、フォースター室としています。

記号	＊＊＊＊ フォースター
冷凍負荷温度(食品温度)	－18℃以下
市販冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3ヵ月

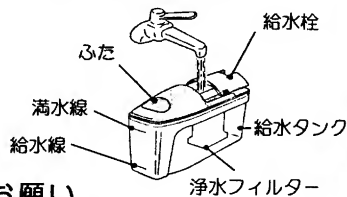
■ **市販冷凍食品の貯蔵期間**
冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類・店頭での貯蔵状態・冷蔵庫の使用条件などによって異なりますので、一応の目安としてご覧ください。

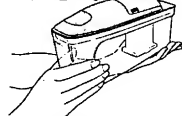
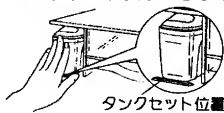
自動製氷機 の使いかた

■給水タンクに水を入れ、セットするだけで氷ができます。一定量氷が貯まると、自動的に止まります。

氷の作りかた

使いはじめや1週間以上使わなかった場合、ニオイやホコリがついていることがありますので、給水経路や製氷皿のおそうじを実施してください。(☞⑮ページ)

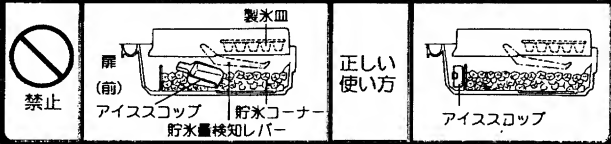
❶ 給水栓を開け、水を入れます。
- 「満水線」まで水を入れてください。満水線以上に水を入れると、ふたの周りから水が漏れます。

お願い
- 水道水をそのままご使用ください。井戸水や浄水器などで塩素分などを取り除いた水や一度沸騰させた水は、雑菌が繁殖しやすくなるため自動製氷に適さないことがあります。

❷ 給水タンクの本体を持ち、静かに運びます。
- タンクの底に手をそえて、水平に運んでください。

❸ 給水タンクを「タンクセット位置」の奥まで確実に押し込みます。
- 給水タンクの押し込みが不充分ですと、給水されず製氷できません。

❹ 給水タンクの水が「給水線」までなくなったら水を補給します。

⚠警告

■ **自動製氷機の機械部には手を触れない**
- 製氷皿が回転したとき、けがをする恐れがあります。

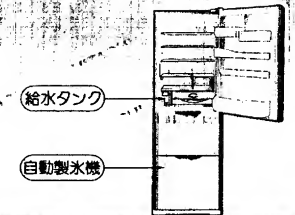
氷の保存について

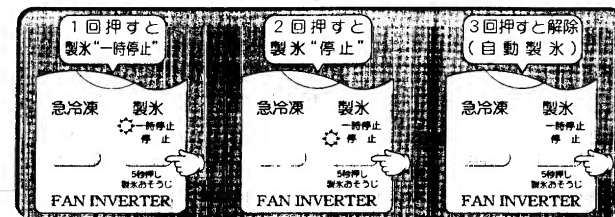
- 氷の量の確認は貯氷量検知レバーが自動的に行い、一定量になると製氷を停止します。但し構造上、貯氷コーナーに氷は一杯にはなりません。
- 氷の量を正しく確認するため、氷は平らにならし、アイススコップは所定位置に倒して置いてください。
- 貯氷コーナーには冷凍食品などを入れないでください。製氷を停止することがあります。

製氷時間と製氷能力について

- 製氷時間は、1回約100分かかります。氷の量は約90個、氷をならすと約130個収納できます。(周囲温度30℃、扉開閉なしのとき)
- 次のようなときには、製氷時間が長くなります。
  - 冷蔵庫の使いはじめは、庫内が充分冷えてから給水・製氷の動作に入りますので、約6～8時間かかります。夏場など周囲温度の高いときには、24時間以上かかることがあります。
  - 扉開閉が多いときや、多量の食品を一度に入れたとき。
  - 冬場など周囲温度が低いときや、製氷の途中で停電などがあったとき。
  - 「製氷停止」から「自動製氷」に切り換えたとき。
- 貯氷コーナーに氷が一定量たまると、自動的に止まりますが、製氷機は氷の量を確認する為、一定時間で動作します。

お願い
- **給水タンクの取り付けは、給水タンクの「給水」と「満水」表示側を手前にして取り付けてください。**
- **給水タンクには、水以外は絶対に入れないでください。**
  〔ジュース・お湯などは故障や変形の原因になります(耐熱温度50℃)〕
- 貯氷コーナーに水を入れて氷を作らないでください。ケースが割れる恐れがあります。

禁止

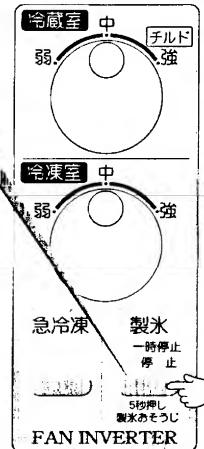
■「ぬめり」や「水あか」の発生を防ぐため、給水タンク・浄水フィルターは、必ず週1回水洗いをしてください。

製氷一時停止・製氷停止のしかた

製氷ボタンを押して、自動製氷機の設定を行います。

- 「製氷運転中」は、表示ランプ(緑色ランプ)が消えています。
- 据え付け時は、「自動製氷」に設定されています。
- 電源プラグを抜き差ししたり、停電から復帰したあとは「自動製氷」の状態に戻ります。

製氷一時停止 夜間、氷の落下音が気になるときに、ご利用ください。

ボタンを押してから約8時間、製氷を停止します。ランプがついている間は、解除するまで、毎日同じ時間に製氷を停止(8時間)します。

製氷停止 冬など長期間氷を作る必要がないときに、ご利用ください。

製氷を停止します。
- ボタンを押してから給水タンクの水を捨て、各部を清掃します。(☞⑮ページ)
- 「製氷停止」から「自動製氷」に切り換えたあとの製氷時間は、給水パイプ凍結防止ヒーターの予熱運転を行うため通常よりも長くなります。

製氷皿おそうじ機能の使いかた

使いはじめや1週間以上使わなかった場合、ニオイやホコリがついていることがありますので、給水経路や製氷皿のおそうじを実施してください。

❶ 給水タンクに新しい水を入れ、所定の位置にセットします。

❷ 冷凍室の貯氷コーナーを空にして、底面にきれいな「ふきん」または「タオル」を敷きます。

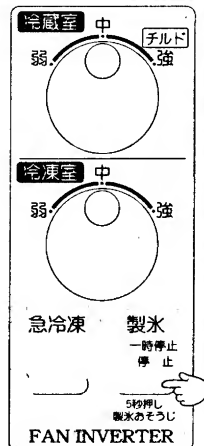
❸ 冷凍室扉が閉まっていることを確認してから、製氷ボタンを5秒以上押し続けます。

"ピーピー…"のアラームが鳴り「おそうじ」を開始します。
(「おそうじ」中は、アラームが鳴り続けます。)

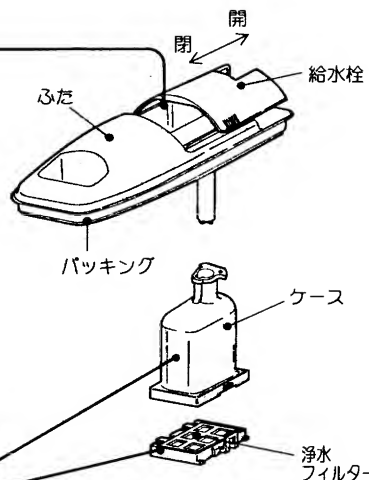
❹ 約3分で「おそうじ」を完了します。

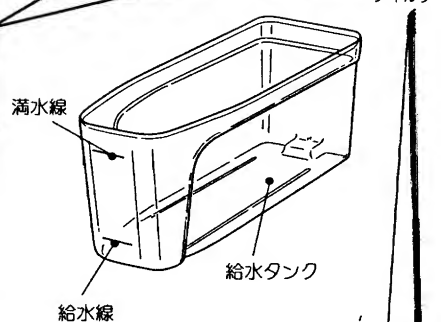
「おそうじ」完了とともにアラームが止まります。

❺ 貯氷コーナーに溜まった氷や水、及び「ふきん」や「タオル」などを取り除きます。

お願い
- ボタンを押し始めたら、「おそうじ」が完了するまで冷凍室扉を開けないでください。
- 「製氷一時停止」や「製氷停止」をしていた場合には、水が出ないことがありますので、「自動製氷」に設定し、30分経過してからお使いください。

自動製氷機 のお手入れ

ふたとパッキング

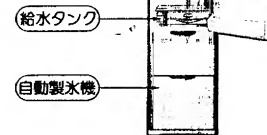
1. ふたの後側（ノズル側）の段差に指を引っ掛け、ふたをはずします。
2. ふたの裏の切り欠き部よりパッキングをはずし、柔らかいスポンジで水洗いします。
3. パッキングを取り付けます。

浄水フィルターとケース

1. 矢印の方向に回し、ケースをツメからはずします。
2. ケース下部を指で押さえ込み、浄水フィルターのつまみ部を指で引っ張ってはずします。
3. 柔らかいスポンジで水洗いします。洗剤などは使用しないでください。
4. 浄水フィルターを元に戻します。

浄水フィルターの交換

- 古くなったら交換してください。（約3～4年が目安です）
- **交換用浄水フィルターのご注文**
  部品番号：RJK-30をご指定のうえ、お買い上げの販売店でお買い求めください。
  （浄水フィルターをはずしても 製氷能力は変わりません）

お願い

- 浄水フィルターは、破れやすいため棒などでつついたりしないでください。
- 浄水フィルターのお手入れは、台所用中性洗剤やベンジン・漂白剤などを使用しないでください。（氷のにおいの原因となります）
- つめでふたを開けないでください。（つめを傷める恐れがあります）
- 給水タンクの取り付けは、給水タンクの「給水」と「満水」表示側を手前にして取り付けてください。
- 「製氷停止」で長期間使用しない場合には、給水タンク各部をよく乾燥させてください。

■「ぬめり」や「水あか」の発生を防ぐため、給水タンク・浄水フィルターは、必ず週１回水洗いをしてください。

このようなときは…

このようなときは	ご確認ください
■氷ににおいがあるとき	● 給水タンク・浄水フィルターが汚れていませんか？ ● 給水タンクの水は古くありませんか？ ● 浄水フィルターをはずしていませんか？ ● 浄水フィルターが古くなっていませんか？ ● お手入れに洗剤やベンジン・漂白剤などを使用していませんか？ ● においの強い食品を、ラップをしないで入れていませんか？
■製氷しない ■氷の量が少ない	● 給水タンクに水が入っていますか？ ● 給水タンクが奥まで正しく入っていますか？ ● 扉をひんぱんに開けたり、多量の食品を一度に入れませんでしたか？ ● 貯氷コーナーに食品など氷以外のものを入れていませんか？ ● アイススコップは所定の位置にありますか？ ● 浄水フィルターが古くなっていませんか？ ● 周囲温度が低く給水タンクの水が凍っていませんか？ ● 停電がありませんでしたか？ ● 製氷ボタンにより、製氷を停止していませんか？ ● 使いはじめなど、冷凍室が充分冷えていないときは氷ができるまでに約6～8時間、夏場は約24時間くらいかかることがあります。
■氷が丸くなる 小さくなる つながったり するとき	● 扉をひんぱんに開けたり、長時間開け放していませんか？ ● 長期間、貯氷したままになっていませんか？ ● 氷は昇華して丸くなったり、くっつくことがあります。 ● 給水タンクの水がなくなったり、水を補給したときの最初の氷はつながったり、小さくできることがあります。 ● 貯氷コーナーに氷がいっぱいになってくると、つながることがあります。 ● 停電になったことがありませんか？

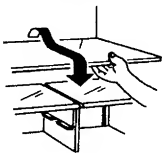
お知らせ 以下のようなことは異常ではありません。

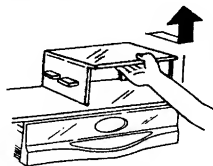
- 氷の落下音・給水ポンプの運転音がします。
- 氷は製氷皿からはずれるとき、少し割れることがあります。
- ミネラル分の多い水で製氷すると、白色の浮遊物（カルシウム結晶）ができることがありますが、害はありません。
- 給水タンク内には水滴が付着します。
- 自動製氷中は、給水タンクが空のときにも、給水ポンプの運転音がしますが異常ではありません。
- 周囲温度が５℃以下では、給水タンクの水が凍ることがあります。このときには、氷を取り除いて水を入れなおし、冷蔵室の温度調節を「弱」にしてください。（☞❾ ページ）
- 冷凍室扉を強く開閉したときには、氷が容器の奥に落ちることがありますので、ゆっくりと開閉してください。

部品のはずしかた・取り付けかた

■取り付けかたは、はずしかたの逆の順序で行います。
■冷蔵室の部品は扉を90度開くだけで、部品の取りはずし、取り付けができます。

高さかわるん棚（最上段）/うすいん棚（2,3段目）

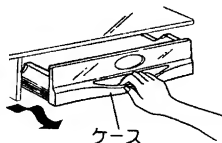
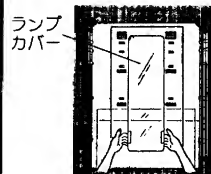
左右の奥を引っ掛けてありますので、奥を少し持ち上げ、手前に引き出します。
取り付けるときは、奥面に当たるまで押し込んでください。

固定棚

手前に少し引き出してから持ち上げます。

氷温ケース

ケースをいっぱいに引き出します。手前を少し持ち上げ、さらに引き出します。

庫内灯の交換

ランプカバー

❶電源プラグを抜く。
❷高さかわるん棚（最上段）、うすいん棚を取りはずす。
❸ランプカバー下側左右の突起部に指をかけて手前に引き、ランプカバーをはずす。
（庫内灯交換後、ランプカバーは先に上部ツメを下側から差し込み、はめてください。）

庫内灯のご注文

形名をご指定のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。

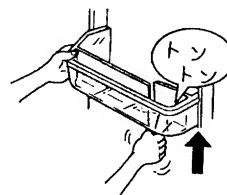
庫内灯	110V 15W
	ガラス球形式 T20
	口金 E12

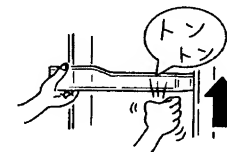
⚠警告

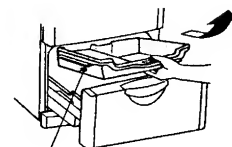
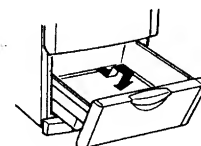
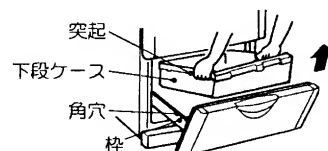
■庫内灯を交換するときは必ず電源プラグを抜く
抜かずに作業すると感電やけがをする恐れがあります。

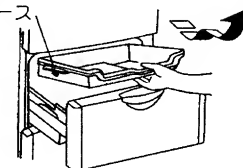
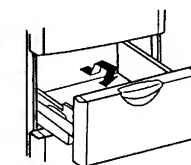
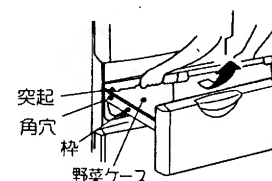
■庫内灯は指定のものを使用する
指定以外のものを使用すると、火災の原因になります。

ジャンボダブルポケット

ポケットの取り付けは固くしてありますので、左右の底面を軽く突き上げながら、ゆっくり押し上げてください。

高さかわるポケット（上段左）/ポケット（上段右・中段大・中段小）

ポケットの取り付けは固くしてありますので、左右の底面を軽く突き上げながら、ゆっくり押し上げてください。

下段ケース・スライドケース

❶ 扉を開け、図のようにスライドケースを引き出します。

❷ 扉の手前を持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、扉を床に着けます。

❸ 下段ケースを図のように持ち上げます。
取り付けの際は、ケース左右4ケ所の突起を扉枠の角穴に入れ、ケースふちで枠を抱え込むようにセットしてください。

野菜ケース・スライド小物ケース

❶ 扉を開け、図のようにスライド小物ケースを引き出します。

❷ 扉の手前を持ち上げ、さらにゆっくりと引き出し、扉を傾けます。

❸ 野菜ケースを手前に持ち上げます。
取り付けの際は、ケース左右奥側の突起を扉枠の角穴に入れ、ケースふちを枠の上に乗せるようにセットしてください。

お手入れのしかた

■月に１回はお手入れを。

お手入れのしかた

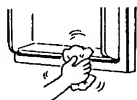
1. 電源プラグを必ず抜きます。
2. 布にぬるま湯か薄めた中性洗剤を含ませてふきます。中性洗剤でふいた後は、水ぶきします。
3. お手入れ後、電源コードにきれつやすり傷がないことを確認します。
4. 蒸発皿が正しく取り付けられていることを確認します。
5. 電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。

お手入れのポイント

ドアパッキング

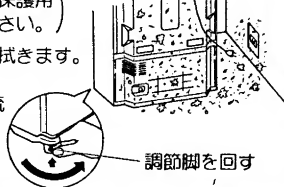
汚れやすいところです。
下側もよくふきます。

汁受け

汚れや汁がたまったら、ふき取ります。

ホコリを取るところ（年１回程度）

1. 脚カバーを手前に引っ張ってはずします。
2. 調節脚を回し、床から浮かせ、冷蔵庫を引き出します。（傷の付きやすい床では保護用の板などを敷いてください。）
3. 背面・壁・床の汚れを拭きます。
   - 背面はほこりがたまったり、空気の対流により細かいほこりが付着して黒く汚れやすいところです。

棚・ドアポケット・ケースなど、

はずして、水洗いします。

⚠注意

■冷蔵庫の底面に手を入れない
冷蔵庫の底面には鉄板があり、けがの原因になります。

●もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠警告

■**お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く　また　ぬれた手で抜き差ししない**
感電することがあります。

■**電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合は　よくふき取る**
ほこりで電気がショートしやすくなり、火災の原因になります。

■**電源コードや電源プラグが傷んでいたりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
感電・ショート・発火の原因になります。

■**水をかけない**
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

お願い

- 電源プラグを抜き、次に差し込むときは、７分以上間をおいてください。すぐに差し込みますと機械に無理がかかります。
- 食用油やかんきつ類の皮に含まれている汁が付いた場合は、ふき取ってください。プラスチックが割れることがあります。
- 食品などの汁が扉表面に付いた場合は、すぐふき取ってください。そのまま放置しますと、変色することがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、化学ぞうきんの注意書に従ってください。
- 次のものは使用しないでください。塗装面や部品を傷めます。
  シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉せっけん・みがき粉・アルカリ性洗剤・弱アルカリ性洗剤・ワックス・熱湯・酸・たわしなど。特に、アルカリ性洗剤・弱アルカリ性洗剤は、プラスチックの表面を黄変させたり、プラスチックが割れることもあります。

故障かな？と思ったら

次のことをお調べください

全く冷えないとき

- 電源プラグが抜けていませんか？
- ヒューズやブレーカーが切れていませんか？
- 停電ではありませんか？

よく冷えないとき

- 温度調節を“弱”にしていませんか？
- 直射日光が当たったり、近くにガスレンジなどがありませんか？
- 熱いものを入れたり、扉をひんぱんに開けていませんか？
- 食品を詰めすぎていませんか？
- 周囲の風通しはよいですか？
- 扉が食品に当たって半開きになっていませんか？
- 据え付け後、じゅうぶんに時間がたっていますか？（夏場など冷えるまでに24時間かかることがあります）
- 夏場の特に暑い時期ではありませんか？（特に外気温が高いときには、冷却力が低下し、アイスクリームが柔らかくなったり、ドアポケットの温度が高くなったりすることがあります）

冷蔵室で食品が凍結するとき

- 温度調節を“強”にしていませんか？
- 周囲の温度が５℃以下になっていませんか？
- 水分の多い食品を、冷蔵室棚の奥に入れてませんか？

音がうるさいとき

- 床がしっかりしていますか？
- 据え付けが悪く、がたついていませんか？
- 背面が壁などに当たっていませんか？
- 冷蔵庫の周囲に、おぼんなどが落ちて音を出していませんか？

庫内のにおいが気になるとき

- においの強い食品を、ラップをしないで入れていませんか？

床面や庫内に水がたまるとき

- 扉が食品に当たって半開きになっていませんか？

これは故障ではありません

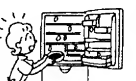
水の流れるような音や沸騰するような音（ボコボコ）がする

- 冷凍サイクル中の冷媒が流れる音や霜取りヒーターから発生する音で、停止中も出ることがあります。

扉を開けた時、庫内から音（ピシッ）がする

- 庫内に暖かい空気が入り、温度変化により、部品がきしむ音です。

外側に露が付く、庫内に霜、氷、露が付く

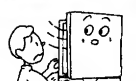
- 周囲の湿度が高いとき、外側やドアパッキング、扉に露が付くことがあります。また、扉の開閉回数が多いとき、水分の多い食品を入れたときに、庫内（特に野菜ケース内）に露など付くことがあります。乾いた布でふき取ってください。

扉を閉めた直後、すぐに扉を開けようとすると、扉が重く感じる

- 庫内に入った空気が急に冷やされて、庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためです。

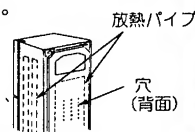
扉を開けたとき、モーター音がする

- 冷却運転時に庫内冷却用ファンが回転しているためです。

扉を閉めたとき、他の扉が一瞬開く

- 扉を閉める際の、中の風圧を逃がすためです。

冷蔵庫の前面や側面や背面が熱く感じる

- 露付防止パイプや放熱パイプを内蔵しているためで、食品の貯蔵には影響ありません。特に夏場は、熱く感じることがあります。

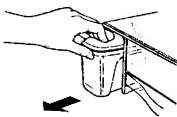
※背面の穴は、冷蔵庫製作時に必要なものです。性能には影響ありません。

■以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときは、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。
アフターサービスについては、（☞23ページ）をご覧ください。

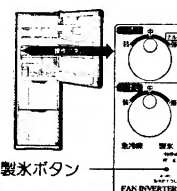
移動・運搬のしかた

移動・運搬のまえに

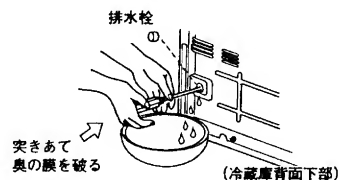
移動するときは

調節脚を上げると、簡単に動かせます。床が傷つきやすい場合はシートなどを敷いてください。傾けて移動するときは、給水タンク・製氷皿や蒸発皿の水をこぼさないようにするため、次の操作をしてください。

1. 給水タンクをはずし、冷凍室扉が閉まっていることを確認します。
2. 冷凍室扉を閉めたまま、操作パネル内にある製氷ボタンを5秒以上押し続けます。

（"ピーピー…"のアラームが鳴り、"製氷皿おそうじ"（☞⑮ページ）が、始まります。）

3. 約3分して、"ピー"音が鳴り止んだら冷凍室扉を開け、貯氷コーナーの水や氷を捨てます。
4. 電源プラグを抜きます。
5. 食品を取り出し、右図の通りに蒸発皿の水を捨てます。

製氷ボタン

蒸発皿の水を抜くには

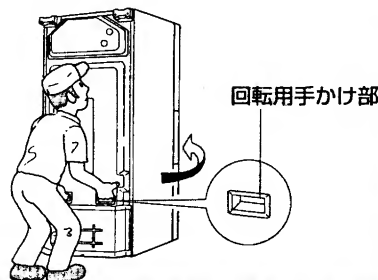
1. 排水口に水を受ける容器を置き、排水栓をはずす。
2. 排水口の中の奥にある膜を、ドライバーなどを強く突き当てて破ります。（排水口より水が出ます。）
3. 排水口より水が出なくなるのを確認してから、水漏れ防止の為、排水栓を確実に締めてください。

●排水後でも、運搬時に少量の水がこぼれる場合があります。冷蔵庫を傾ける前に、下側に雑巾などを敷いてください。

移動・運搬のとき

取っ手（手かけ部）を持つ。　取っ手を持つ。

●扉が開かないように、しっかり固定してください。扉の側面は、塗装が施してありますので、テープで固定する場合は紙などをあてて、粘着剤が塗装部につかないようにしてください。

階段の踊り場などで向きを変えたいとき

●一度本体を起こし、回転用手かけ部を持ってゆっくりと押して回す。（傷の付きやすい床では保護用の板などを敷く）

お願い

● 引き出し扉の取っ手は、指が滑りやすいため、運搬には使わないでください。
● 扉を持って運んだり、横積みをしないでください。（圧縮機の故障の原因になります）

お知らせ

● 転居の場合、周波数50/60Hz（ヘルツ）は共用ですので特別な操作はありません。

保証とアフターサービス／お客様ご相談窓口

（必ずお読みください）

保証について

■この商品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。なお、食品の補償等、製品修理以外の責はご容赦ください。

■保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
ただし、冷凍サイクル・冷却器用ファンおよびファンモーターは、5年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご希望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

補修用性能部品の保有期間について

■冷蔵庫の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後9年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

使用中に異常が生じたときは、直ちに電源プラグを抜き、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。アフターサービスを依頼されるときは、右のことをお知らせください。

形　　名…R-S36NV・R-S36NVL
故障状態…できるだけ詳しく
道　　順…付近の目印も

※形名は冷蔵室扉内側の品質表示ラベルあるいは保証書をご覧ください。

アフターサービスでお困りの場合は

■お買い上げの販売店か、下記ご相談窓口にお問い合わせください。

転居されるときは

■ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での、日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は	商品情報やお取り扱いについてのご相談は
0120－3121－68	0120－3121－11

＊フリーダイヤルされますと、お客様の地域を担当するセンターへおつなぎします。

一般ご相談窓口　家電品についてのご意見やご要望は各地区の お客様相談センター へ

担当地域	電話番号	所在地
北海道地区	011－833－5088	札幌市白石区東札幌2条4－1－10
東北地区	022－232－5088	仙台市宮城野区扇町1－1－45
関東・甲信越地区	03－3834－8588	台東区東上野2－7－5（日立家電上野ビル）
中部地区	052－795－5088	名古屋市守山区川宮町55(日立家電守山ビル)
関西地区	078－431－5088	神戸市東灘区甲南町1－3－8
中国地区	082－231－5088	広島市西区観音新町1－7－17
四国地区	0877－47－1088	坂出市林田町4285－143
九州・沖縄地区	092－281－5088	福岡市博多区店屋町7－18（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。